

## 対人関係と言語（続き）

次の空欄に当てはまる敬語動詞を書き入れなさい。適切な敬語動詞がない場合は、×を入れなさい。ただし、動詞の「れる・られる」形は除く。

	普通語	尊敬語	謙讓語
1	見る	ご覧になる	
2	する		
3	食べる		いただく
4	聞く	お聞きになる	
5	行く	いらっしゃる（おいでになる・おこしになる）	
6	いる		おる
7	やる 与える		（差し）上げる
8	会う	お会いになる	お会いする・（ ）
9	思う	お思いになる	
10	訪ねる		伺う
11	～てもらう	×	
12	～てくれる		×

## 2. 敬語の用法（その1）

尊敬語は、主語を敬う。そのため、主語となるのは常に他人である。一方、謙讓語は主語を低めて動作の受け手を敬うため、主語となるのは自分または自分の身内である。したがって敬語を使うには、まず尊敬語と謙讓語の区別を覚えて、次に誰が主語なのかを理解する) ことが重要である。

(例) 荷物を持つ

A 「あなた」が主語で、「あなた」に敬意を表す場合

→主語を敬う尊敬語を使って、「( )」となる。

B 「私」(話し手)が主語で、話の相手(聞き手)に敬意を表す場合

→「私」が主語であるので、主語を低める謙讓語を使って、「( )」

となる。

×あなたがお持ちしている荷物 → ○ ( )

問：次の各文の下線部を適切な表現に改めよ。(米田他編(2010)より、一部改題)

1. 私のおじさんが申しておりました。

[私の( )が申しておりました]

2. どうぞ拝見してください。

[どうぞ( )ください]

3. どうぞお茶をいただいでください。

[どうぞお茶を( )ください]

4. 私の父にお目にかかっていたきたいのです。

[私の父に( )いたきたいのです。]

5. 先生んちの猫、もう大きくなられましたか。

[ ( )の猫、もう大きく( )ましたか。]

6. 私の母がいらっしゃいました。

[私の母が( )。]

7. どの色のスーツにいたしますか。

[どの色のスーツに ( )。]

8. 乗車券をお持ちしない方はございませんか。

[乗車券を ( ) ]方はございませんか。

9. そちらのお客様を、私は知りません。

[そちらのお客様を、私は ( )。]

10. 明日、お客様に私からお聞きになってみます。

[明日、お客様に私から ( )。 / ( )。]